

本園の地域連携、地域交流

認定こども園ドリームツリー・マリア国際幼稚園

国際交流

～積極的に英語を使って周囲とコミュニケーションをとる～

1. 目的と経緯

- ・国際社会がますます進んでいる現在、幼児教育の「英語」の必要性が強く認識されているため、本園では日ごろから積極的に英語を使い、幼児期から英語に親しめるようにしている。
- ・35周年を迎え、創設当初より様々な国の保育士と生活の中で楽しみながら英語に親しんできた。
- ・保育士からだけでなく、毎年デンマークから研修生を招き、会話や遊び・日常生活に必要な言葉を自然に学んでいる。

2. 内容

- ・日々の生活の中で研修生に毎日のミーティングを行ってもらい、活動・行事も一緒に楽しんでいる。
- ・毎週週1回程度、研修生による活動を30分程度設けながら、子ども達が積極的に関わられるようにしている。また、言葉は英語のみを使っているが、お互いに歩み寄りながら信頼関係を築くことができている。
- ・活動内容としては絵本の読み聞かせ・室内・室外のゲームなど、子ども達が楽しんで参加できるものを毎回用意してくれている。またデンマークの文化などについても話す時間を作ってもらっている。
- ・研修生が来た際には毎回どこの国から来たのか？またその場所はどこにあるのか？など、地図や国旗なども広げて子ども達に問いかけ、興味関心を持てるようにしている。
- ・Welcome party だけでなくお別れの際には Farewell party も行っている。



3. 成果と課題

- ・英語を聞く力が育ち、積極的に英語を使ってコミュニケーションをとる姿が見られている。また、聞こうとする力も育ってきている。
 - ・担任とはまた違った立ち位置で子ども達と信頼関係を築き、お互いに心を通わせている。一方で楽しくなるとけじめをつけられないこともあるので、あくまでも保育士の一員として信頼関係を築いていけると良い。
 - ・外国の方が来園しても、動じずに自ら関わり進んで挨拶をし、一緒に過ごすことができているので、子ども達がコミュニケーションを恐れることがない。
- またデンマークだけでなく他の国や国旗にも興味を持ち、絵本や図鑑などで国旗や場所を調べている。